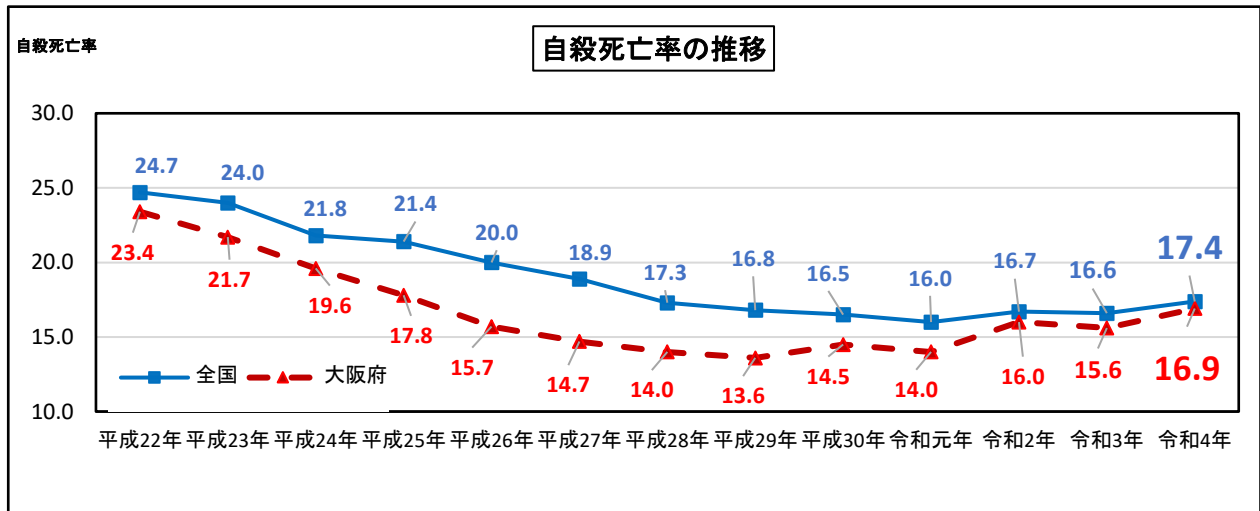
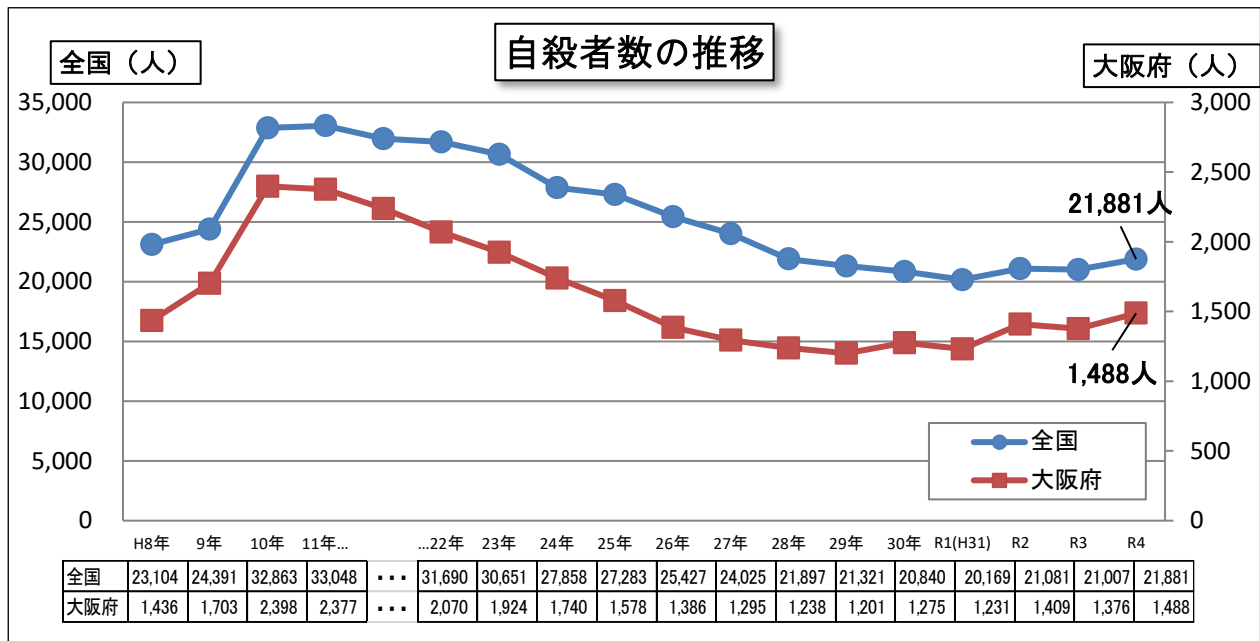


大阪府の自殺の概要<令和4年>

資料1-1



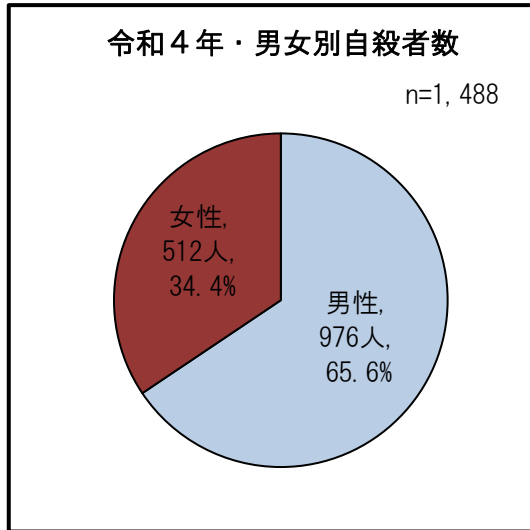
出典：厚生労働省自殺対策推進室作成地域における自殺の基礎資料 発見日・発見地 ※警察庁の自殺統計

全国の自殺者数は、平成10年以降年間3万人を超えて高止まりの状態でしたが、平成22年から減少傾向となり、平成24年から継続して3万人を下回っています。

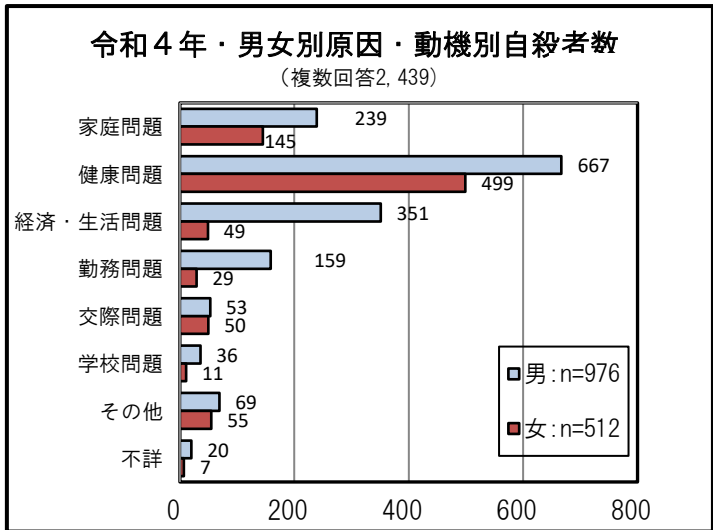
大阪府の自殺者数も全国と同様に推移し、平成10年に2千人を超え、一気に3割以上の増加後、若干の変動はあるものの横ばい状態で推移していましたが、平成23年より減少傾向となり、2千人を下回りました。

令和2年は新型コロナウイルス感染症の拡大といった要素があり、全国の自殺者数は11年ぶりに増加しました。同様に大阪府でも新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受け、それまで減少していた自殺者数が、令和2年に増加に転じました。令和3年は前年より減少しましたが、令和4年は前年より112人増の1,488人となり、増加に転じた令和2年より多い状況です。1日に約4人の方が亡くなっている状況です。

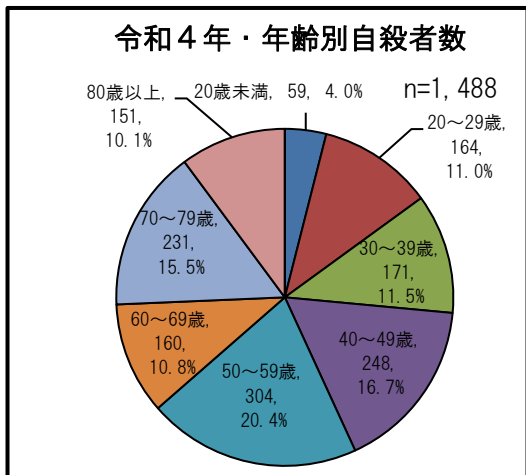
自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は、16.9となっています。



男女別自殺者数は、男性が976人（65.6%）、女性が512人（34.4%）となっており、依然として男性が女性の2倍に近い数となっています。

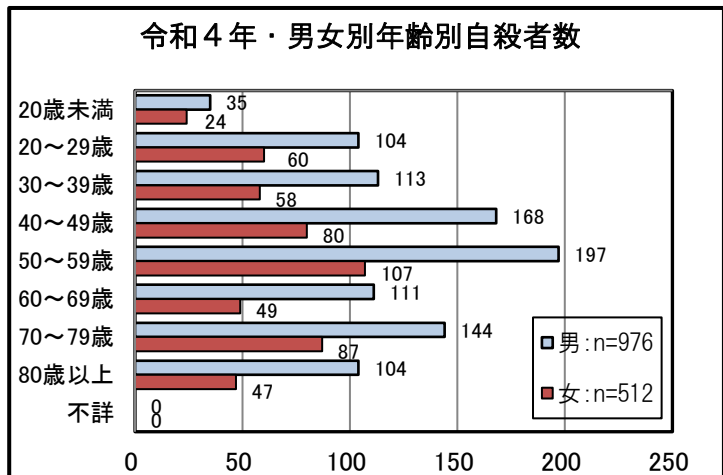


令和4年からは、家族の証言等から原因・動機を4項目まで計上することが可能になりました。男性は、「健康問題」「経済・生活問題」「家庭問題」が上位を占めています。女性は、「健康問題」「家庭問題」「交際問題」が上位を占めています。



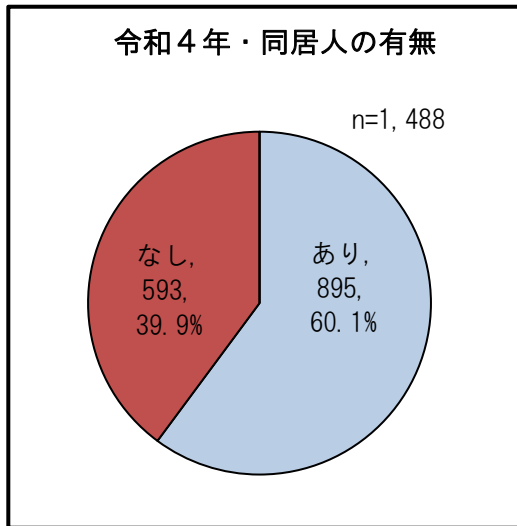
年齢別自殺者数は、「50～59歳」が304人（20.4%）と最も多く、次いで「40～49歳」が248人（16.7%）、「70～79歳」が231（15.5%）と続いています。

また、39歳以下の若年層の自殺者数は394人（26.5%）で、全体の約4分の1を占めています。

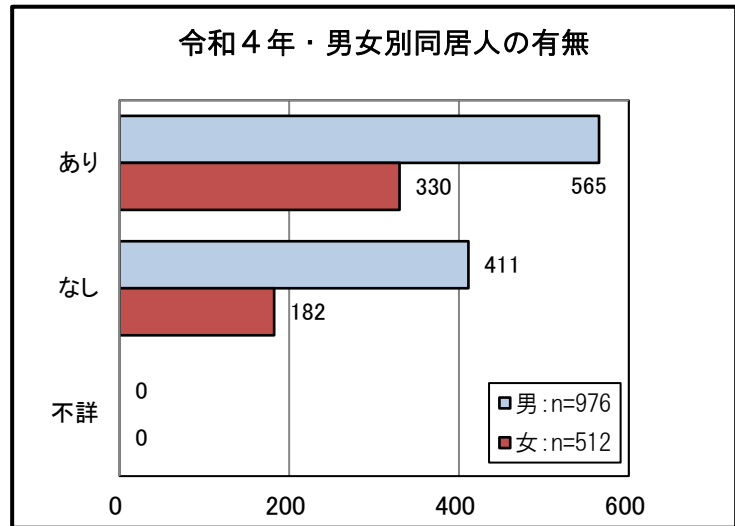


男女別に年齢別自殺者数を比較すると、男性は「50～59歳」197人（20.2%）が最も多く、「40～49歳」168人（17.2%）が続いています。

女性は「50～59歳」107人（20.9%）が最も多く、次いで「70～79歳」87人（17.0%）となっています。

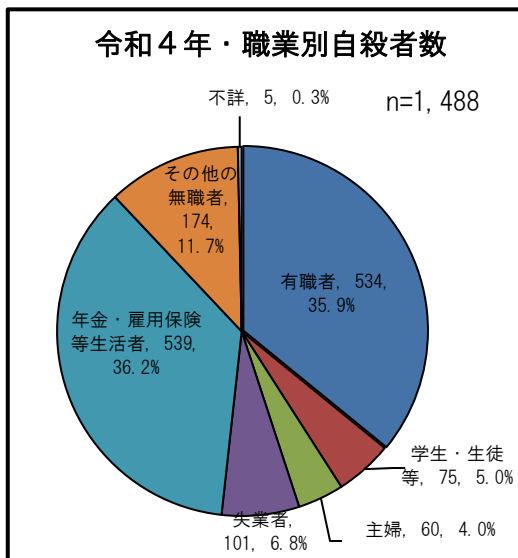


同居人の有無では、「同居人あり」が895人（60.1%）、「同居人なし」が593人（39.9%）となっており、「同居人あり」の方が約6割と多くなっています。



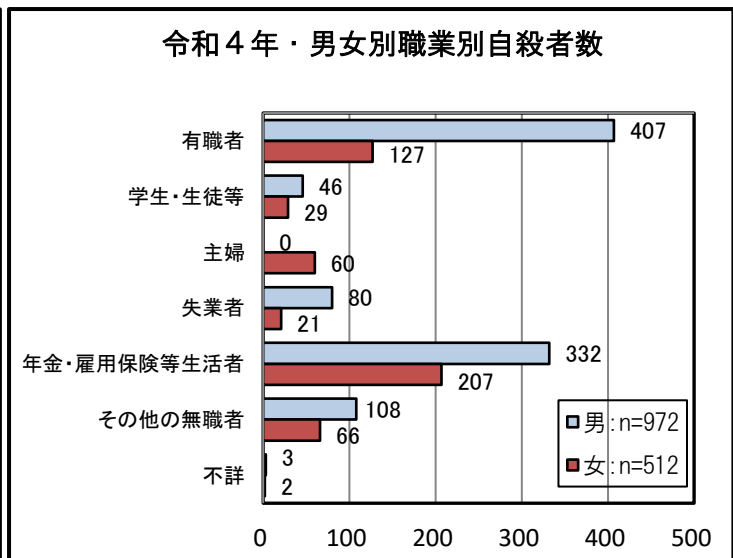
男女別の同居人の有無では、男性565人（57.9%）、女性330人（64.5%）が「同居人あり」で、男性394人（40.4%）、女性182人（35.5%）が「同居人なし」でした。

女性の方が「同居人あり」の割合が多くなっています。



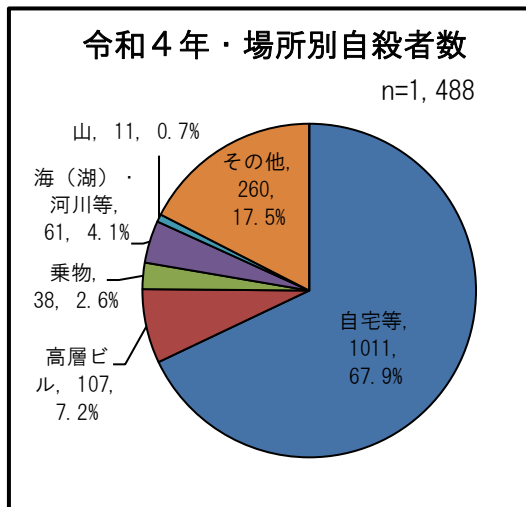
職業別自殺者数の割合は、「年金・雇用保険等生活者」が539人（36.2%）と最も多く、次いで「有職者」が534人（35.9%）となっています。

「学生・生徒等」は、75人（5.0%）です。

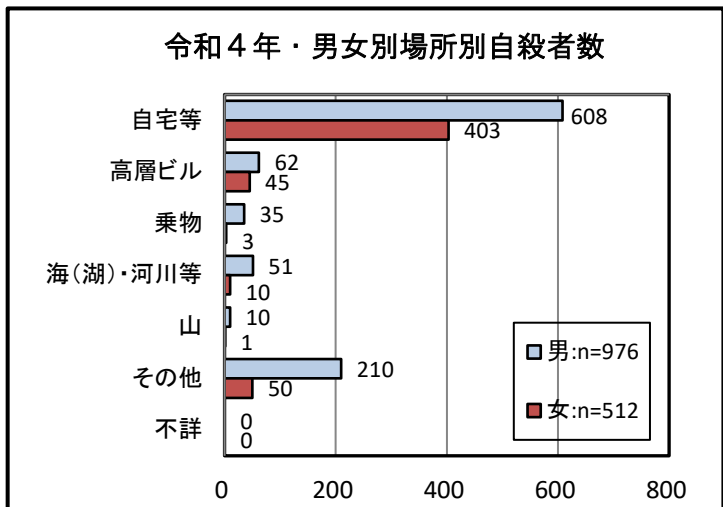


男女別に職業別自殺者数をみると、男性は「有職者」が407人（41.7%）で最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」が332人（34.0%）となっています。

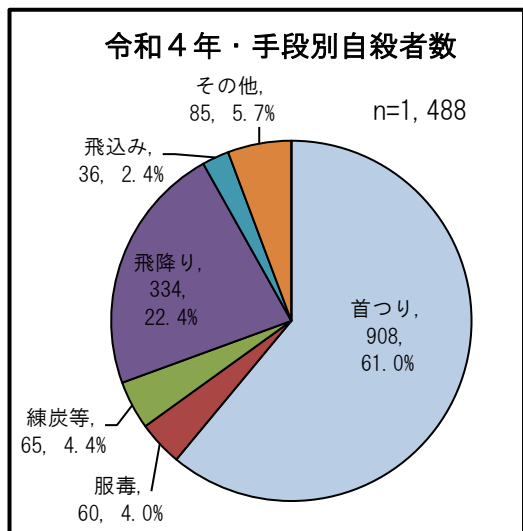
女性は、「年金・雇用保険等生活者」が207人（40.4%）で最も多く、「有職者」が127人（24.8%）で続いています。



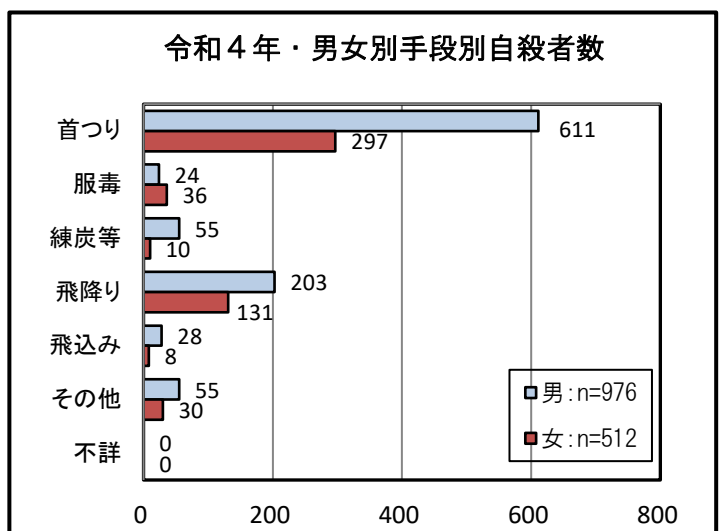
場所別自殺者数では、「自宅等」が1,011人(67.9%)と約7割を占めています。次いで「高層ビル」が107人(7.2%)となっています。



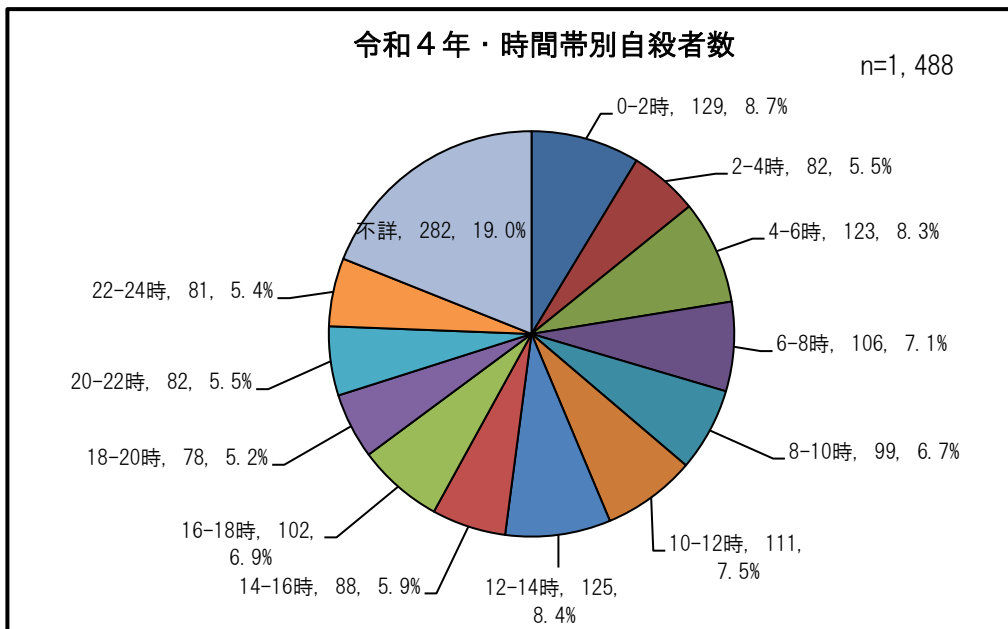
男女別に場所別自殺者数をみると、男女ともに「自宅等」が多くなっており、次いで「高層ビル」となっています。「自宅等」が男性608人(62.3%)で、女性403人(78.7%)、「高層ビル」が男性62人(6.4%)で、女性45人(8.8%)です。



手段別自殺者数では「首つり」が908人(61.0%)と6割を占めています。次いで「飛降り」が334人(22.4%)となっています。

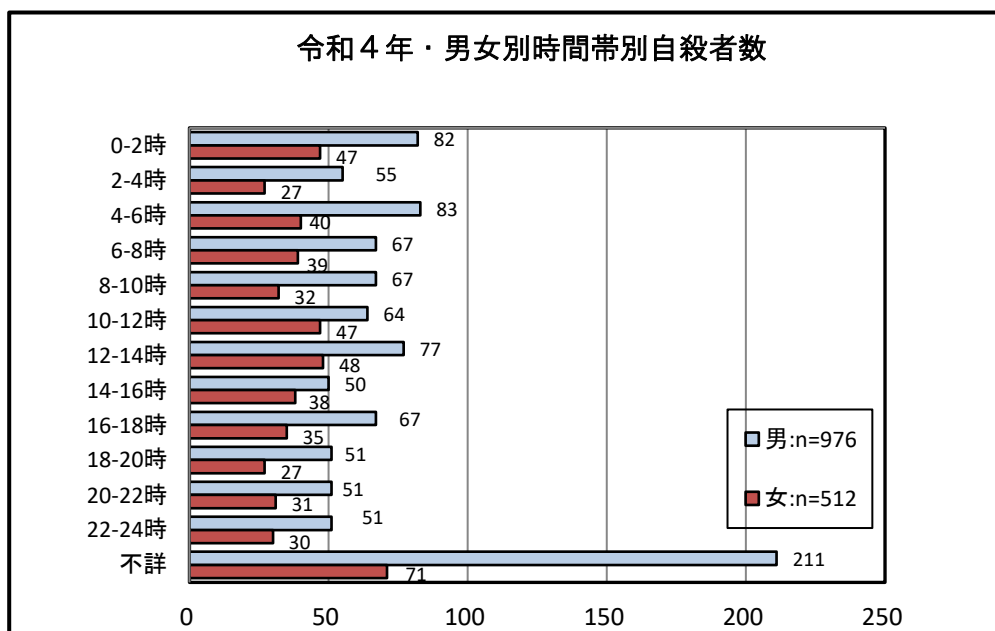


男女別に手段別自殺者数をみると、「首つり」が男女ともに多く、次いで「飛降り」が多くなっています。「首つり」は男性611人(62.6%)で、女性297人(58.0%)、「飛降り」は男性203人(20.8%)で、女性131人(25.6%)です。



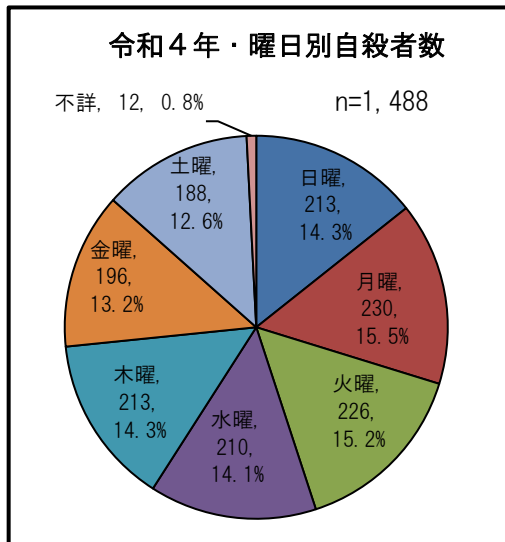
時間帯別自殺者数の割合では、「不詳」以外で最も多い時間帯は「0～2時」の129人（8.7%）、次いで「12時～14時」の125人（8.4%）となっています。

少ない時間帯は「18時～20時」78人（5.2%）となっています。

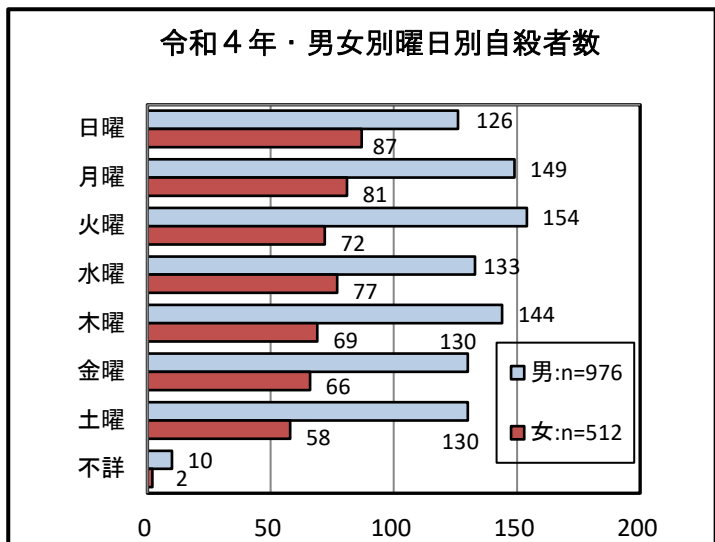


男女別の時間帯別自殺者数については、男性では「4～6時」が83人（8.5%）、女性では「12時～14時」が48人（9.4%）でそれぞれ最も多くなっています。

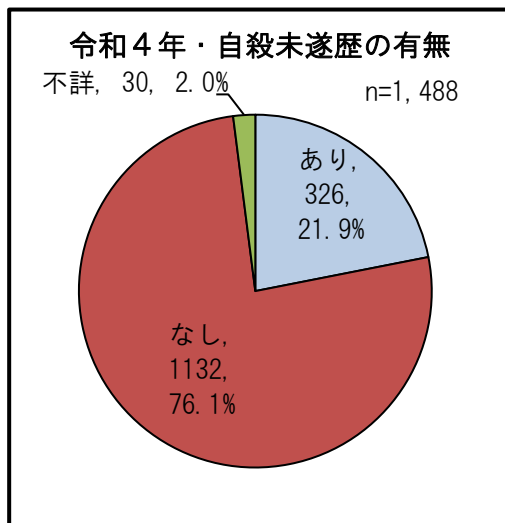
「18時～24時」は男女ともに自殺者数の少ない時間帯となっています。



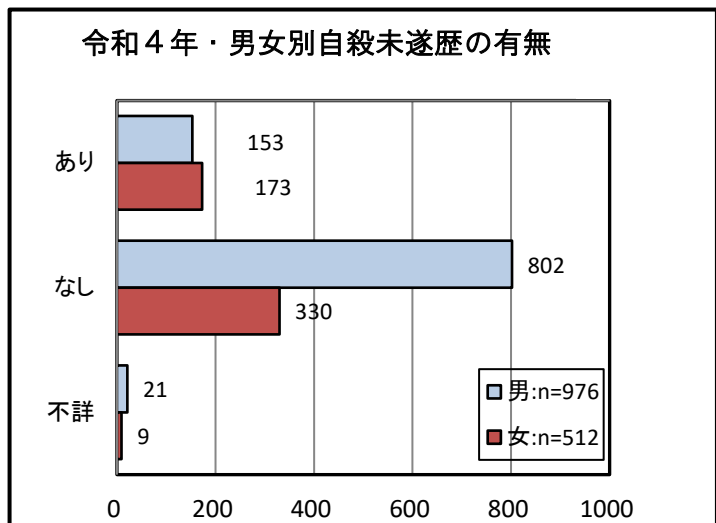
曜日別自殺者数の割合は、「月曜日」の230人（15.5%）が最も多く、「土曜日」の188人（12.6%）が少なくなっています。



男女別の曜日別自殺者数では、男性は「火曜日」の154人（15.8%）が最も多く、「月曜日」の149人（15.3%）が続いています。
女性には「日曜日」の87人（17.0%）が最も多く、「月曜日」の81人（15.8%）が続いています。



自殺未遂歴の有無では、「あり」は326人（21.9%）で全体の5分の1を占めています。「なし」は1,132人（76.1%）となっています。



男女別に自殺未遂歴の有無をみると、男性の自殺未遂歴「あり」の割合は153人（15.7%）、女性の自殺未遂歴「あり」の割合は173人（33.8%）となっており、女性の自殺未遂歴「あり」の割合が男性の約2倍多くなっています。